

TACHIBANA DISCLOSURE

平成30年度 上期の概況



たちばな信用金庫

たちばなしんきん と 地域社会

～ この街と生きていく ～

皆様の大切な資金を
地域に還元しています

【預金積金】
119,248百万円
【出資金】
878百万円

当金庫は、お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの充実に努めています。

地域のお客様

【有価証券での運用】
23,172百万円
【預証率】
19.43%

○ご融資以外の運用について
お客様からお預りした預金の一部を、有価証券で運用しています。対象の選定にあたっては安全性を第一とし、国債等の公共債や金融債等を中心に購入しています。

【貸出金】
73,185百万円
【預貸率】
61.37%

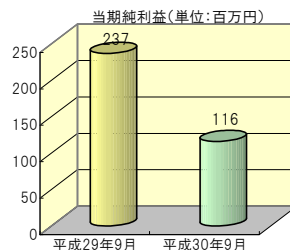
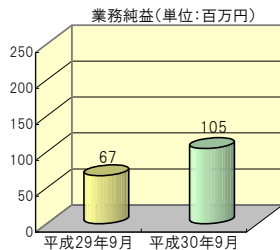
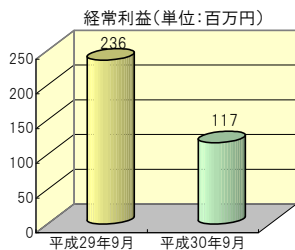
○地域のお客様へのご融資について
当金庫は、地域のお客様の幅広い資金ニーズにお応えしています。事業資金の融資や住宅ローンなどの個人向け融資を積極的に行っております。
○お取引先への支援等について
当金庫は、金融円滑化法の終了後におきましても、継続してきめ細かい課題解決型金融機能の推進を図り、経営改善や事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮や販路拡大等への支援を行います。

たちばな信用金庫

常勤役職員数186人

お客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。

主要な経営指標



- 経常利益
本来の業務から得られる営業利益に、有価証券の売却益等の臨時収益や貸倒引当金等の臨時費用を加減したものです。
- 業務純益
貸出金や有価証券の受入利息や受入手数料等の収入から、預金の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。
- 当期純利益
経常利益に非反復的、非経常的な損益である特別損益を差し引いた税引前当期純利益から、法人税、住民税及び事業税を差し引いたものです。

単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は「金融機関の健全性」を見る重要な指標です。信用金庫は、自己資本比率を4%以上維持し、健全な財務を保つことが義務付けられています。

●単体自己資本比率 (単位:百万円、%)

	平成30年9月	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(A)	5,081	
コア資本に係る調整項目(B)	12	3
自己資本額(A)-(B)=(C)	5,069	
リスク・アセット等計(D)	60,713	
自己資本比率(C)÷(D)	8.34	
総所要自己資本額	2,428	

<参考> (単位:百万円、%)

	平成30年3月	経過措置による不算入額
	4,987	
	10	6
	4,976	
	59,220	
	8.40	
	2,368	

※総所要自己資本額
=リスク・アセット等計×4%

預金・貸出金の状況

●預金・貸出金の状況 (単位:百万円)

	平成30年9月末
預金	119,248
貸出金	73,185

<参考> (単位:百万円)

	平成30年3月末	平成29年9月末
	116,976	116,263
	72,409	73,415

貸出金の内訳（業種別）

●貸出金の内訳	（単位：百万円）
	平成30年9月末
製 造 業	2,251
農 業、林 業	86
漁 業	48
鉱 業、採石業、砂利採取業	—
建 設 業	5,504
電気、ガス、熱供給、水道業	160
情 報 通 信 業	38
運 輸 業、郵 便 業	623
卸 売 業、小 売 業	4,646
金 融 業、保 険 業	2,645
不 動 産 業	14,570
物 品 賃 貸 業	246
学術研究、専門・技術サービス業	270
宿 泊 業	978
飲 食 業	1,212
生活関連サービス業、娯楽業	1,100
教 育、学 習 支 援 業	236
医 療、福 祉	3,010
そ の 他 の サ ー ビ ス	3,486
小 計	41,119
地 方 公 共 団 体	3,744
個人（住宅・消費・納税資金等）	28,320
合 計	73,185

＜参考＞	（単位：百万円）
	平成30年3月末
製 造 業	2,215
農 業、林 業	89
漁 業	59
鉱 業、採石業、砂利採取業	—
建 設 業	5,530
電気、ガス、熱供給、水道業	164
情 報 通 信 業	48
運 輸 業、郵 便 業	629
卸 売 業、小 売 業	4,734
金 融 業、保 険 業	2,158
不 動 産 業	14,174
物 品 賃 貸 業	253
学術研究、専門・技術サービス業	265
宿 泊 業	982
飲 食 業	1,096
生活関連サービス業、娯楽業	1,078
教 育、学 習 支 援 業	222
医 療、福 祉	3,055
そ の 他 の サ ー ビ ス	3,628
小 計	40,389
地 方 公 共 団 体	4,134
個人（住宅・消費・納税資金等）	27,885
合 計	72,409

※貸アパートもしくは貸ビル建設に係る貸出金は個人であっても不動産業へ計上しております。

※業種別の区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

●金融再生法開示債権	（単位：百万円）
	平成30年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	665
危険債権	2,061
要管理債権	61
正常債権	71,102
合 計	73,892

＜参考＞	（単位：百万円）
	平成30年3月末
	606
	2,127
	30
	70,371
	73,136

●金融再生法債権の保全状況		(単位:百万円、%)	
	平成30年9月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
破産更生債権等	362	303	100.00%
危険債権	1,182	520	82.58%
要管理債権	49	7	93.25%
合 計	1,594	831	86.98%

＜参考＞		（単位：百万円、％）
平成30年3月末		
担保・保証等	引当金	保全率
329	277	100.00%
1,207	547	82.47%
23	3	88.67%
1,559	828	86.39%

●金融再生法上における不良債権比率	
平成30年9月末	3.77%

＜参考＞	
平成30年3月末	3.77%

金融再生法開示債権の開示基準は、担保や保証があり回収確実な部分や、貸倒引当金が計上されている部分、いわゆる保全可能分を含んで開示しています。よって全てが回収不能債権となる訳ではありません。

有価証券の時価情報

●その他有価証券で時価のあるもの			(単位:百万円)	
	平成 30 年 9 月 末			
	時 価	評価差額	うち益	うち損
債 券	20,061	317	364	46
株 式	110	△ 12	4	17
そ の 他	2,968	△ 28	44	73
合 計	23,139	276	412	136

<参考>		(単位:百万円)	
平成30年3月末			
時 価	評価差額	うち益	うち損
20,816	569	585	15
104	△ 12	3	15
2,752	△ 54	30	84
23,673	502	619	116

●満期保有目的有価証券で時価のあるもの			(単位:百万円)	
	平成 30 年 9 月 末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
債 券	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

＜参考＞		(単位:百万円)	
平成30年3月末			
帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

●時価のない有価証券の貸借対照表計上額				(単位:百万円)
	平成 30 年 9 月 末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	—	—	—	—
非上場株式	32	—	—	—

＜参考＞		（単位：百万円）	
平成30年3月末			
帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
—	—	—	—
32	—	—	—

●売買目的有価証券 該当ございません

（注）平成30年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成30年9月末時点の帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

地域貢献活動など

● たちばなビジネスクラブ「未来」

地域経済の未来を担う、経営者、後継者、経営幹部に加え、たちばな信用金庫の役職員が、勉強会等を通じて課題解決に努めるとともに、会員相互の能力向上を図り、会員企業の発展、ひいては地域経済の発展へ寄与することを目的として、平成29年9月にスタートした、たちばなビジネスクラブ「未来」では、4回の会員企業PR会、雇用助成金、事業引継の2つのセミナーに加え、2月には長崎大学山口純哉准教授を迎え、地域経済と地域企業をテーマに、6月には株式会社大丸松坂屋セールズアソシエイツの林田尚之インバウンドディレクターを迎え、コミュニケーション力をテーマとした講演会を開催しました。

平成30年9月27日(木)には、第2回定期総会を開催し、2期目へのスタートを切るとともに、合資会社若竹屋酒造場第14代目社長の林田浩暢氏を迎え、赤字脱却と債務超過解消をテーマに記念講演会を開催しました。



● 地方自治体との連携

当金庫の斡旋により、諫早市は6月1日～7日に東京スカイツリーにおいて諫早市内の名所案内、特産品を展示し「Beautiful NIPPON」全国観光PRコーナーにて諫早市のPRを行いました。



● 長崎への観光誘致

9月に東京国際フォーラムにおいて開催された「2018 よい仕事おこしフェア」には、当金庫の斡旋により、一般社団法人長崎県観光連盟が出展し、イベントステージで変面ショーを披露し、異国情緒豊かな土地柄をアピールするとともに、ブースでは長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産、明治日本の産業革命遺産の2つの世界遺産と島の魅力を紹介し、長崎県の魅力をPRしました。



● ビジネスフェアへの出展

取引先の販路開拓の機会創出を目的として、9月に岡山県コンベックス岡山で開催された「第14回岡山県しんきん合同ビジネス交流会」、東京都東京国際フォーラムで開催された「2018 よい仕事おこしフェア」の2つのビジネスフェアへ4先の出展斡旋を行いました。平成30年度は11月に北九州市で開催される「ひびしんビジネスフェア2018」へ参加します。



● たちばな未来塾

地域経済への貢献を目的として、地域における若手経営者、企業後継者、女性経営者を育成するため、インクグロウ株式会社代表取締役鈴木智博氏を講師に迎え「第8期たちばな未来塾」を参加者27名にて開講しました。

この勉強会は7月18日～11月22日まで5回の講義を実施し、企業経営の基本から中期経営計画の策定までを修得していただきます。



● 長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産応援定期「祈」の取扱い

募集総額の一部を長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を応援し、遺産等の保存・保全や観光客誘致に役立てていただくことを趣旨として、平成30年6月20日(水)～平成30年8月10日(金)まで「長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産応援定期『祈』」の取扱いを行いました。

募集予定総額は25億円でしたが、予定を上回る26億円の募集となり、取引先をはじめとした地域の多くの方々に「長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を応援する」という趣旨に支持をいただきました。

募集総額に応じた寄付金を、8月29日、長崎県への観光客誘致の活動を行っている一般社団法人長崎県観光連盟へ寄付させていただきました。



● 地域行事への参加

のんのこ諫早まつりをはじめとした各地域で行われた夏祭り等の地域行事へ、日ごろのご愛顧に感謝する観点から積極的に参加し、地域の方々とふれあい、「親近感湧くしんきん」を感じていただきました。

